

I 学校の状況

学級数	4	児童・生徒数	39	教職員数	24
メールアドレス	toyosaka-chu@city.higashihiroshima.hiroshima.jp				
ホームページアドレス	https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/school/toyosaka_chu/				

II 教育目標

よりよく生きる ～ 自律・貢献・感謝 ～

III 経営理念（ミッション・ビジョン）

<p>ミッション：温かなつながりと感動とともに、豊栄の地に質の高い教育を提供する</p> <p>ビジョン：○夢や志の実現に向かって、努力し続ける忍耐力と行動力をもつ生徒</p> <p>○自身の学びを振り返り、他者の考えを取り入れ、学びを深めることができる生徒</p> <p>○自他の生命を尊重し合い、いじめや偏見・差別を許さない生徒</p> <p>○ふるさと「豊栄」を大切に、地域に貢献しようとする生徒</p>

IV 中期経営目標及び短期経営目標

項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目
確かな学力	1	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的・対話的で深い学びの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○自己表現力の育成 ○基礎的・基本的な学習内容の定着 ○生徒の主体的な学習を促す授業改善の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○学びの質を高めるための「表現すること」に視点を置いた授業改善 ○各種テスト等の計画的な実施 ○ミライシード等の活用 ○月 1 回以上の授業観察 ○ICT を効果的に活用する授業づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ○他者の意見を参考にして自分の考えを再構築している生徒の割合：70%以上 ○各種学力調査において、総得点 30%以下の生徒の割合：20%以下 ○授業公開：全教員が年度 1 回以上 ○授業に満足している生徒の割合：80%以上
豊かな心・健やかな体	2	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣の定着 ○自己指導力の育成を目指した生徒指導の充実 ○不登校、問題行動、いじめ問題の克服 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活リズムの確立 ○規律の徹底と規範意識の醸成 ○自己肯定感と自己有用感を高める教育活動の推進 ○不登校、問題行動等の発生件数の減少 ○不登校生徒の社会的自立に向けた支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○起床時刻、就寝時刻の固定 ○食習慣の確立 ○納得と評価による生徒指導の機能的な実施 ○主体性を尊重した生徒会活動の推進 ○Hyper QU の結果を活用した集団支援 ○不登校生徒の自立に向けた取組の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○起床時刻、就寝時刻をほぼ固定している生徒の割合：80%以上 ○毎日、朝食を摂っている生徒の割合：90%以上 ○生徒の自己肯定感の割合：80%以上 ○場に応じた適切なマナーが身に付いている生徒の割合：70%以上 ○生徒主体の行事等を楽しみにしている生徒の割合：70%以上 ○各尺度の不満足群（非承認群）：25%以下 ○SC・心のサポートと連携した生徒相談：年 3 回以上 ○不登校生徒並びに家庭連携：週 1 回以上

		○体力・運動能力の向上	○継続的な体力づくりと健康な体づくりの推進	○新体力テストの結果に基づく運動内容の充実 ○部活動への自主的参加	○トレーニング集会の計画的な実施：月3回以上 ○部活動に意欲的に取り組む生徒の割合：85%以上
信頼される学校	3	○地域の活性化に貢献できる学校づくりの推進 ○働き方改革の推進	○地域に感謝し、貢献しようとする生徒の育成 ○小中・中高の連携教育の充実 ○働きやすい職場づくりの推進	○地域行事への積極的な参加を促す ○異校種との積極的な交流や連携 ○学校組織の適正化と分掌等役割配分の適正化	○地域に愛着を感じている生徒の割合：80%以上 ○異校種との交流は、自分のためになっていると感じている生徒の割合：70%以上 ○県費負担教職員の勤務時間外在校等時間の月平均：45時間以下 ○県費負担教職員の年度内の年次有給休暇取得日数：12日以上

V 学校評価

1 学校評価システムの組織（構成者を含む）

- 自己評価・・・学校運営協議会3回

〔学校運営協議会委員〕 校長・教頭・教務主任・生徒指導主事

評価者	評価方法	評価時期
保護者	アンケート	7月・12月
生徒	アンケート	7月・12月
教職員	アンケート	7月・12月

- 学校関係者評価・・・学校運営協議会3回（4月・10月・2月）

〔学校運営協議会委員〕 地域代表・PTA会長・こども園長・小学校長・高等学校長

2 自己評価及び学校関係者評価の実施計画（公表方法を含む）

- 中間評価結果の活用法

- ・進捗度、成果と課題、改善を夏の校内研修会で全教職員が共有化し、年度内の取組に生かす。
- ・評価結果を学校だよりやPTA行事等で公開するとともに、学校運営協議会で説明し協議する。

- 最終評価結果の活用法

- ・進捗度、成果と課題、改善を年度末の校内研修会で全教職員が共有化し、翌年度の計画・施策に反映させる。
- ・評価結果を学校だよりやPTA総会等で公開するとともに、学校運営協議会で説明し協議する。